

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くれよんLINO		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年12月22日		～ 2026年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	過ごす部屋が広く二部屋あり、子どもの発達や相性を考慮して安心できる環境を整えることができる	その日の活動内容によって部屋を分けたり、子どもの様子を見ながら部屋を分けて活動している	遊びの中での発達や感覚統合支援について、法人内の職員研修の実施や外部研修等で周知していき、子ども達一人ひとりの遊びや行動の観察を深めていく
2	活動プログラムは子どもに合わせたものを取り入れている 季節に応じたイベントや活動を実施している	一人ひとりに合った活動が出来るようにしっかりと課題を準備し、常に新しいことを取り入れていくようにしている 四季を感じることで出来る活動を実施し、学校休業日にはお出かけや買い物に行き、他が開催しているイベントには積極的に参加している	職員全員で支援の話し合いをこれからも継続し、より良い支援に繋がるように、様々な視点の意見を今以上に大切にしてい 子どもたちの興味のある活動をどんどん取り入れていく イベントはこれからも継続して参加していく
3	ご家族の方に写真や動画などで活動の様子を伝えている 必要に応じて定期的な面談以外にも面談を行ったり、電話やSNSを使って情報を提供したり、情報の共有をしている	くれよんの理念である寄り添った支援を行えるようご家族との関係を構築し、相談や話がしやすい環境を提供出来るようにしている 事業所の様子がわかるよう様々なツールを使い発信している	ご家族同士で話が出来茶話会を開き、皆さんが楽しく集える場所の提供をし、職員とご家族も面接などの機会にもっと話などが出来るようにしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族に対して研修会やペアレントトレーニングが出来ていない	職員の技術と人員の確保が難しいため行えていない 研修は日程や望む内容が保護者の方によって違うため先延ばしになっている	人材の確保と体制づくりを考えていきたい
2	地域交流など地域に関わる事があまりできていない	地域の行事は日曜日が多く参加出来ない 感染症などもあり年配の方々に参加してもらえない 行事が行えていない	積極的にいろいろなところに参加出来るようにしていきたい
3	学校や学童との交流ができていない。 他事業所との連携が難しい	事業所からのアプローチが少ない 相手側から閉ざされてしまうこともある	事業所からの声掛けや、日々送迎時等での先生とのやり取りや、相談支援専門員とのやり取りで連携を深めていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	くれよんLINO
------	----------

公表日 2026年2月21日

利用児童数

28人

回収数

23人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1		1	広くて安全	スペースを活用した活動をしている
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1		4		これからも適切な配置をしていく
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21			2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	21			2	子どもたちが楽しめるよう工夫してくれ 感謝している 新しい施設なのでキレイ	継続していく
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21			2		研修などで専門性を今以上に高めていく
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			1		プログラムに沿った内容を取り入れる
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22			1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21			2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22			1		季節のイベントや外部講師を呼んだ活動を取り入れている
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	2	10	学校で交流しているため求めている	公園等で地域の子どもたちと交流する
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22			1		今後も丁寧な説明をしていく
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	2		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22			1		法人内研修の充実、外部研修の情報共有をこれからも実施し、ペアレントトレーニングについても検討していく
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22			1		連絡アプリやLINE、送迎時に伝えている
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21			2		面談の実施に加え、都度相談できるよう、様々な手段を用いている
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21			2		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	2	1	3	きょうだい児の交流はイベントの際に多少あったように感じる	保護者会(茶話会)は年に何度か開催しているが、きょうだい児支援等は行っていない	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			2		相談できる場所の提供をしており、すぐに対応できるようにしている
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21			2	連絡アプリで様子(写真)が見れるのでうれしい	連絡アプリやLINEなどを取り入れている
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22			1		通信やホームページ・SNS等で発信している
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19			4		マニュアルは策定しており、訓練も定期的に実施している 様子をお伝えできるように努めていく
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			5		定期的に訓練を実施している
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		5		電話や送迎時、連絡帳などで連絡するようになっている
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				長期的に通っており安心している	安心して通所できるようにこれからも努めていく
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1			通所が楽しみで学校へ行くことに前向きになれる時がある	これからも楽しく通所してもらえるように活動など考える
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				学校とは異なる刺激をもらっている いつも丁寧に関わってくれ感謝している	これからも満足していただけるよう努めていく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		くれよんLINO				公表日	2026 年 2 月 21 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		広いスペース2つで活動を分け個室も活用している	個室が少ない	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10		人員基準以上の職員(3~4人)を配置している	子どもの様子や送迎時に手薄に感じる事もある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		目で分かるように情報を開示している	トイレやトイレまでの道のりが狭く、バリアフリー化はできていない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	掃除をチェックシートを作成し、毎日掃除、消毒を実施している	満足せずに工夫を続けていく	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	部屋によって活動を変えており、個別のスペースも確保している	個別のスペースが少ない	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2	ミーティングなどで参加している	参加している職員が一部の職員になっており、不参加の職員には伝わりにくい	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		意向に沿えるところは改善している	療育方針や環境など改善できないこともある	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	定期的にミーティングを実施している	発言は一部の職員が多く、全員が発言できるよう改善に努めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	外部評価は出来ていないが様々な意見を聞き、改善に努めている	そういった機会を増やせるように努力していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		講習会や研修の案内がグループLINE等で共有している オンライン研修を実施している	法人内研修も増やしていく	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2	ミーティングなどで話し合いをし作成している	全体ミーティングで細かく決めていく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		面談時にアセスメントを実施し、話し合いをしている	保護者の方と課題が合わない場合がある	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		毎日のミーティングで実施している 職員にモニタリング等に参加し、検討している	今よりも定期的なミーティングを行う 一部の職員の参加になっている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	いつでも手に取って見れるようにしている データ化もしている	共有不足の職員もいる	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		全職員が実施できていない	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1		移行支援や地域支援は目標に届かない場合もある	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	毎月のミーティングや、日々のミーティングなどで話し合いをしている	全員が話を出来るようにする	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		毎月のミーティングや、日々のミーティングなどで話し合いをしている	全員が話を出来るようにする
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			全職員が実施できていない
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1		送迎でない職員にも確実に伝える
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	6	送迎者以外の職員で実施している 気になることはグループLINEなどで情報共有している	残った職員により出来ていないことがあるので、毎日できるように努める
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		選択肢のあるスケジュールを用意し、自己決定しやすいようにしている	たくさんの選択肢を与えることができるようにする
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1		連携がとることが難しいことがあるためこちらからのアプローチをもっと増やしていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		連携がとることが難しいことがあるため、こちらからのアプローチをもっと増やしていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1		情報共有など出来ていないため、課題として受け止め、実施できるよう努める
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1		情報共有など出来ていないため、課題として受け止め、実施できるよう努める
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2		出来ていないため、実施できるよう努める
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	地域の公園に行ったり、行事に参加している	児童クラブなどとは連携できていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10		毎月参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1	送迎時や電話、SNSで伝えている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		法人で研修を実施している 外部研修の情報提供をしている	ペアレントトレーニングは出来ていないため、実施できるよう努める
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に伝えており、問い合わせがあればその都度伝えている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		日々子どもたちにも確認をとっている	意思表示が難しい子どもは意向が確認できていない
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		SNSなどでも受けれるようにしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	1		きょうだい児支援はできていないため、実施できるよう努める
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		毎月通信を発行し、SNS等を活用している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1	法人で夏祭りを実施している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2		周知が行き届いていない場合がある
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	2	契約時に確認し、その都度報告をしてもらうように努めている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1		医師の指示書をもらうようにする
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	避難訓練の実施の様子は連絡帳に記載しており、写真を添付することもある	周知が行き届いていない場合がある
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハットが発生した際は、グループLINEで発生を知らせ、共有出来るようにし、ミーティングなどで話し合いをしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		オンライン研修で必須で受講し、外部研修があれば受講を促している	外部研修の受講率が低いため、高めていく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		同意書にサインをいただいている		